

## ～大雪や暴風雪災害への備え～

大雪は、北海道付近を低気圧が通過する時や、西高東低の冬型の気圧配置で上空に寒気が入り、季節風が強まる時などに発生します。また、石狩湾付近に小さな低気圧が発生した時には局地的に短い時間で大雪や暴風雪になることがあります。

大雪や暴風雪になると、道路の通行止めや鉄道・航空機の運休や、車が雪で埋まり閉じ込められて身動きが取れなくなったり、湿り雪が降ると電線着雪などによる停電、ビニールハウスの倒壊や倒木といった被害も発生することがあります。

札幌管区气象台では、大雪や暴風雪により重大な災害が発生すると予想した時には、「大雪（特別）警報」や「暴風雪（特別）警報」を発表し、厳重な警戒を呼びかけます。

雪の状況（気象レーダー）や気象情報は、テレビのデータ放送等で確認できるほか、パソコンや携帯電話を使ってホームページでも確認できますので、これらを有効に活用しましょう。

加えて関係機関と共同で「暴風雪への備え」に関するリーフレットを作成しています。インターネットで「札幌管区气象台 暴風雪」と検索すると札幌管区气象台等のホームページでご覧になれます。

いつ起こるかわからない大雪や暴風雪による災害に備えて、次のことに注意しておきましょう。

### ■雪は時間と場所によって降り方が大きく変化する

- ・季節風が強い時において雪雲は筋状となり、狭い範囲に降ります。今いる場所が晴れていても、少し離れた場所では大雪や暴風雪となっている場合があります。
- ・低気圧の通過や風向の変化で天気が急変し、暴風雪になる場合があります。

### ■車の運転に注意

- ・雪に関する注意報や警報が発表されている時は、不要な外出は避けましょう。
- ・車が立ち往生したとき、雪が排気口をふさいで排気ガスが逆流することで一酸化炭素中毒のおそれがあります。排気口の周りの除雪をこまめに行い、低体温症に注意しつつ確実に避難できる場合以外、車から離れないようにしましょう。

### ■除雪作業時の注意

- ・雪による人的な被害は、屋根の雪降ろし中の事故が最も多くなっています。一人で作業をせず、命綱をつけるなど、未然に事故を防ぎましょう。また、屋根からの落雪にも注意しましょう。

札幌管区气象台ホームページ「暴風雪への備え」

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/boufusetu/boufusetu.html>

◆問合せ 札幌管区气象台 天気相談所 ☎011-611-0170



リーフレット  
「できていますか？」  
暴風雪への備え」

## 平成28年度原子力防災訓練を実施しました

11月13日（日）、14日（月）の2日間にわたり、北海道と泊原発周辺13町村及び避難先市町村などが、泊原発での重大な事故を想定した原子力防災訓練（国の原子力総合防災訓練との合同訓練）を実施しました。

訓練は、北海道南西沖地震の発生により、泊村で震度5強を観測。後志管内に大津波警報・津波警報が発令され、稼働中の泊原発3号機が自動停止し、炉心の損傷により放射性物質が放出されたとする想定で行われました。

本町では、災害対策本部を設置し、共和町のオフサイトセンターや一時滞在場所である札幌コミュニティドーム（つどいむ）へ要員を派遣して運営訓練を実施したほか、ニッカウヰスキー北海道工場余市蒸留所において外国人観光客の圏外退避訓練、道の駅スペースアップルよいちにおいて避難退域時検査訓練などを実施しました。

また、観光客など一時滞在者の避難手順を確認することを目的とした観光施設との通信連絡訓練や社会福祉施設、学校、幼稚園などとの通信連絡訓練及び施設における屋内退避訓練も実施しました。



《避難退域時検査訓練》

## 余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

- ◆測定日：10月21日～11月22日
- ◆最高値：56 nGy/h
- ◆最低値：35 nGy/h
- ◆平均値：40 nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時（nGy/h）程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

地域協働推進課 ☎21-2142